

ピロリ菌の検査を受けてみませんか？

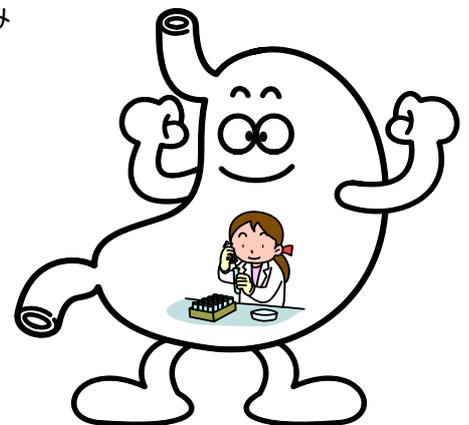
- 血液検査におけるピロリ菌の検査では、ピロリ菌に対して作られる抗体の量を検査します。

ピロリ菌に感染すると、抵抗力として菌に対する抗体をつくります。血液中に存在するこの抗体の有無を調べる検査です。定期健康診断の採血検査で、検査が可能です。



- ピロリ菌は、胃潰瘍や十二指腸潰瘍、胃炎、胃がんなどの発病の原因となります。

ピロリ菌は1980年代に発見された菌で、正式名称はヘリコバクターピロリと呼ばれます。胃の中を好んで住み着き、日本では年齢の上昇と共にピロリ菌を持っている人が増加し、60歳以上ではおよそ60%の人が持っているという統計が出ています。感染原因は、口から口への経口感染がほとんどで、母親から子どもへの感染が大部分を占めているといわれています。また、環境衛生の状態が悪い国においては、水道も感染経路になるようです。



● ご注意

この検査は、血液検査のみで簡単に胃の健康度を調べるものであり、バリウム検査や胃カメラ（内視鏡）検査にかわるものではありません。胃切除後の方は、検査結果に影響があるため、原則として検査対象外とさせていただきます。

 一般財団法人 九州健康総合センター

〒805-0062 北九州市八幡東区平野一丁目11-1

TEL:093-672-6210

FAX:093-681-3495

E-mail:kyuken03@kyuken.or.jp URL: <http://www.kyuken.or.jp/>